

加賀市における公立病院改革プランの
実施状況の点検・評価

加賀市地域医療審議会

- 1 加賀市地域医療審議会の組織
- 2 加賀市地域医療審議会の目的
- 3 審議の経過
- 4 公立病院改革プランの実施状況の点検・評価
- 5 参考意見

1 加賀市地域医療審議会の組織（平成 23 年 9 月 29 日現在）

会 長	稲坂 暢	（加賀市医師会長）	
副会長	柴田 裕行	（南加賀保健福祉センター所長）	当日欠席
委 員	上田 良成	（加賀市医師会議長）	
委 員	富田 勝郎	（金沢大学附属病院長）	当日欠席
委 員	岩村 正秀	（加賀市議会議長）	
委 員	林 俊昭	（加賀市議会議員）	
委 員	三輪 邦彦	（市民代表 [公募]）	
委 員	丸谷 朱美	（市民代表 [公募]）	
委 員	嶽野 賢一	（加賀市消防長）	
委 員	関 雅博	（独立行政法人国立病院機構石川病院長）	
委 員	嶋崎 正晃	（山中温泉医療センター管理者）	
委 員	小林 武嗣	（加賀市民病院長）	

2 加賀市地域医療審議会の目的

本審議会は、加賀市地域医療審議会条例第 1 条の規定に基づき、加賀市の地域医療の充実を図ることを目的とする。今回の審議会は、この目的に沿い加賀市病院事業改革プランの実施状況の点検・評価をおこなう。

3 審議の経過

● 会議

日時：平成 23 年 9 月 29 日（木）13 時 57 分～15 時 40 分

場所：加賀市民病院 講堂

■ 会議内容

- (1) 加賀市が開設する 2 病院の改革プランの実施状況について説明が行われ、意見が交わされた。

4 公立病院改革プランの実施状況の点検・評価

数値目標については一部達成されたものもあるが、目標値に届かなかったものも多くある。常勤医師を確保し患者数を増やし、病床利用率を向上させて収益の増加を図るよう一層努力していただきたい。ただ、負担の軽減や待遇面の改善などが無ければ医師の確保は困難であり、今後そのあたりを考慮していく必要がある。さらに医師をサポートするスタッフも十分に揃えていただきたい。その上でより良質のサービスを提供し続け、市民ひとり一人との深い信頼関係を築ける病院づくりに励んでいてもらいたい。新病院に関しては、今の時点からより良い医師、看護師を確保できるように努め、新しい施設、医療資源を十分に稼働させられる体制を整えていていただきたい。

5 参考意見

- (1) 救急の患者、特に夜間の患者を受入れることが入院患者を増やすために必要なことである。夜間に来院する人は大抵入院が必要な人である。
- (2) 数字に拘りすぎると医師やスタッフのモチベーションに関わる。良いバランスで対応すべき。
- (3) 手術など高度医療が必要となった患者さんが、加賀市内で入院せず大病院に行くケースがよくある。加賀市内では対応できないのか、しっかり説明できているのか、信頼されているのか。
- (4) 患者さんの疾患に対して、より適した治療のできる医療機関への紹介などをスムーズに行うため、患者さんとの信頼関係を保つことに尽力しなければならない。
- (5) 地域の医療機関や介護等の施設との連携をますます密にしていかなければいけない。いろいろな疾病に関して連携しているが、今後はもっと増やしていく必要がある。
- (6) 医師もコメディカルも自身のキャリアアップは重要な要素である。それらをサポートする様々な研修の実施を行わなければならない。
- (7) 若い医師確保のため、教えを乞いたいと思うような人望のある医師が来て欲しい。
- (8) 外来患者が増えると忙しいだけで大きな収益の増加とはならないし、医師の負担増となる。むしろ救急・入院患者を多く診ることが必要で、結果それが医師確保にも繋がる。
- (9) 公立病院改革プランの該当年度が終了しても、継続して改革に努めるべき。